

第3学年 算数科 評価規準表(おおむね満足である:B)

狛江第六小学校

観点		算数への関心・ 意欲・態度	数学的な考 え方	数量や図形に ついての技能	数量や図形に ついての知識・ 理解	C評価の児童に 対する手立て
単元等						
4 月	<p>1 かけ算</p> <p>○九九表の数の並び方に目をつけ、交換法則や乗法のきまりを発見したり、成り立つわけを説明したりする。</p> <p>○九九表の数の並び方に目をつけ、積の増減のしかたと乗数の関係を見たり、成り立つわけを説明したりする。</p> <p>○九九表の数の並び方に目をつけ、分配法則を発見したり、成り立つわけを説明したりする。</p> <p>○九九表の数の並び方に目をつけ、分配法則を発見したり、成り立つわけを説明したりする。</p> <p>○合計点を、乗法で計算しながら、楽しくゲームをする。</p> <p>○$\square \times 0$や$0 \times \square$が0になるわけを、いろいろな方法で説明する。</p> <p>○乗数や被乗数が10の乗法の答えを、乗法のきまりを用いたり10がいくつ分と考えて、求める。</p>	<p>○九九表や乗法の用いられる場面を通して、乗法に関して成り立つきまりのよさに気づき、それらを活用しようとしている。</p>	<p>○乗法に関して成り立つ性質を活用して、0の乗法や十に1位数をかける乗法のしかたを考えている。</p>	<p>○乗法の交換法則や分配法則などを見つけることができる。また、0の乗法や十に1位数をかける乗法ができる。</p>	<p>○乗法の交換法則や分配法則などを理解している。また、0の乗法や十に1位数をかける乗法のしかたを理解している。</p>	<p>* かけられる数やかける数が0の場合の計算の仕方を理解させる。</p> <p>* ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる</p>

	<p>2 計算の仕方を考えよう</p> <p>○12×4の計算のしかたを、既習の乗法九九や計算のきまりを用いて、自分なりの考えで答えを求める。</p> <p>○12×4の計算は、被乗数の12を位ごとに分けたり、2つの1位数に分けたりして計算できることに気づく。</p>	<p>○乗法九九の範囲をこえる乗法の問題に、既習事項を使って取り組もうとしている。</p>	<p>○12×4の答えを求めるために、具体物や図、式などを用いて表現し、既習事項を使って考えている。</p>			<p>* 割り算のきりを応用して計算ができるようにする</p>
5月	<p>3 時こくと時間</p> <p>○経過量としての時間と、時間の両端としての時刻の違いを知る。</p> <p>○時間や時刻の計算をする。</p> <p>○分より短い時間を計る。</p> <p>○分より短い時間の単位「秒」を知る。</p> <p>○ストップウォッチで短い時間を正確に計ることができる。</p> <p>○分と秒の単位換算ができる。</p> <p>○分と秒を用いて、短い時間を測定する。</p> <p>○各地の日の出の時刻のちがいについて知る。</p>	<p>○日常生活の中から「秒」を単位として測定する場面を見つけて、実測したり感覚的に時間を計ったりしようとしている。</p>	<p>○秒・分・時の関係が60進法に基づいていることから、具体物や図、式を用いて、時間や時刻の求め方を考えている。</p>	<p>○ストップウォッチを用いて時間を測定したり、時間や時刻を求めたりできる。</p>	<p>○時間の単位「秒」と、分と秒の関係、時間と時刻の求め方を理解している。</p>	<p>* 日、時、分、秒の関係や時刻や時間の求め方を理解させる。</p> <p>* ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる。</p>

<p>4 わり算</p> <p>○「分ける」と「同じ数ずつ分ける」ことの意味の違いが分かり、操作を通して、等分したときの1人分の数を求める。</p> <p>○等分除が用いられる場面が分かり、除法の式の表し方を知る。</p> <p>○等分除の答えを乗法九九を用いて求める。</p> <p>○等分除の問題を作る。</p> <p>○包含除が用いられる場面が分かり、除法の式を立てる。</p> <p>○包含除の答えを乗法九九を用いて求める。</p> <p>○等分除と包含除の違いが分かる。</p> <p>○1つの式から2種類の除法の問題を作る。</p> <p>○除法で答えが1や0になる場合や、1でわる除法の意味が分かり、計算する。</p> <p>○簡単な場合の除数が1位数で商が2位数の除法の計算のしかたを考える。</p> <p>○除数が一定の式を比べ、それぞれの式の間になり立つきまりを見つける。</p>	<p>○除法を用いるよさに気づき、日常生活で進んで使おうとしている。また、除法の場面を簡潔に表せる式のよさに気づいている。</p>	<p>○具体物や図、既習の乗法を用いて、除法の答えを見つける方法を考えている。また、除法が用いられる場面を式に表したり、式を具体的な場面に結びつけてとらえている。</p>	<p>○除法の場面を、絵・図・式を使って表したり、乗法九九を用いて答えを求めたりできる。また、除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。</p>	<p>○除法が用いられる場面や除法の意味、乗法九九を用いた除法の答えの求め方を理解している。また、除法が用いられる場面の数量の関係を理解している。</p>	<p>* かけ算九九を用いて、わり算の答えが求められることを理解させる。</p> <p>*ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる。</p>
---	---	---	--	---	--

	<p>5 あまりのあるわり算</p> <p>○分けるとき，余りが出る場合も除法の立式ができることを知り，乗法九九を用いて答えを求める。</p> <p>○余りのあるわり算の除数と余りを調べ，除数と余りの関係を知る。</p> <p>○除法の計算の確かめのしかたが分かる。</p> <p>○余りのある除法の問題を解き，除法についての理解を深める。</p> <p>○除法を活用する。</p>	<p>○余りのある場合も除法ができることに気づき，わり算を進んで用いようとしている。</p>	<p>○余りのある除法の意味や処理のしかたを具体的な場面と結びつけながら，具体物や図を用いて考えている。</p>	<p>○余りのある除法の計算や余りの処理ができる。</p>	<p>○余りの意味や処理のしかたや，除法の筆算のしかたを理解している。</p>	<p>* あまりのあるわり算の計算の仕方を理解させる。</p> <p>* ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる。</p>
6月	<p>●テープ作り</p> <p>○テープ作りを通して，倍の考え方を知る。</p> <p>○包含除の問題場面にも倍の考えを用い，処理することができる。</p>	<p>○2つの量に関係づけて見ようとしている。</p>	<p>○2つの量で，一方の量をもとにする量とし，それを単位として他の量の大きさが「何倍」になるかという関係を，数で表すことを考えている。</p>	<p>○2量の関係を利用して「何倍」を表したり，「何倍」にあたる大きさを求めることができる。</p>	<p>○倍を使った2量の関係の表し方を理解している。</p>	<p>* ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる。</p>

<p>6 たし算とひき算</p> <p>○加法の用いられる場面を理解し、立式する。</p> <p>○(3位数)+(3位数)で、繰り上がりのない計算のしかたを考える。</p> <p>○(3位数)+(3位数)の筆算の問題を作り、発表する。</p> <p>○(3位数)+(3位数)で、十の位に繰り上がる計算のしかたを考える。</p> <p>○(3位数)+(3位数)で、百の位に繰り上がる計算のしかたを考える。</p> <p>○(3位数)+(3位数)で、繰り上がりが1回の筆算ができる。</p> <p>○(3位数)+(3位数)で、十の位にも百の位にも繰り上がる計算のしかたを考える。</p> <p>○(3位数)+(3位数)で、繰り上がりが2回あり、十の位が空位になる計算のしかたを考える。</p> <p>○(3位数)+(3位数)で、答えが653になる計算問題を作る。</p> <p>○減法の用いられる場面を理解し、立式する。</p> <p>○(3位数)-(3位数)で繰り下がりのない筆算のしかたを考える。</p> <p>○(3位数)-(3位数)の筆算の問題を作り、発表する。</p> <p>○(3位数)-(3位数)で、繰り下がりが1回ある計算のしかたを考える。</p>	<p>○3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたを、既習事項を活用して考えようとする。</p>	<p>○(2位数)±(2位数)の計算のしかたをもとに類推するなどして、3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたを考えている。</p>	<p>○3位数や4位数の加法及び減法の計算が筆算でできる。また、計算の確かめができる。</p>	<p>○3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたや、加法や減法の計算が、2位数などの基本的な計算をもとにできることなどを理解している。</p>	<p>* ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる。</p>
--	--	---	---	--	---

7 月	<p>○(3位数)-(2・3位数)で、繰り下がりが2回ある計算のしかたを考える。</p> <p>○(3位数)-(2・3位数)で、被減数の十の位が空位の計算のしかたを考える。</p> <p>○(3位数)-(2・3位数)で、被減数の十の位と一の位が空位の計算のしかたを考える。</p> <p>○(3位数)+(3位数)で千の位に繰り上がる加法と、その逆の減法の筆算のしかたを考える。</p> <p>○(4位数)±(4位数)の筆算のしかたを、3位数の計算原理をもとに考える。</p> <p>○被加数、加数、和の関係について考える。</p> <p>○被減数、減数、差の関係について考える。</p> <p>○加法の交換法則や結合法則を活用して、計算のしかたを工夫する。</p> <p>○(2位数)±(1・2位数)などの簡単な暗算をする。</p> <p>○問題の場面を理解し、テープ図に表したり式に表したりして、問題を解決する。</p>					
--------	---	--	--	--	--	--

<p>7 表とグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校の前の交通量に興味をもち、調べる目的をつかむ。 ○目的に合った調査の方法や手順を考え、調査をする。 ○集めた資料をもとにして、整理の観点を決め、それに応じた分類・整理の方法を考える。 ○集めた資料を、落ちや重なりがないように整理し、表に表す。 ○棒グラフの見方・用語を理解する。 ○棒グラフは、数の多い順に表すと見やすくなることが分かる。 ○棒グラフを読み、資料の特徴を指摘する。 ○表と棒グラフ、それぞれのよさが分かる。 ○横の棒グラフを読む。 ○数の多い順ではなく、順番通りに表す棒グラフがあることが分かる。 ○最小目盛りがいくつかを読み取る。 ○棒グラフのかき方が分かる。 ○棒グラフに関する用語を理解する。 ○1目盛りの大きさを工夫して棒グラフをかく。 ○資料を比較するために、いくつかの一次元表を、二次元表にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの事象から、資料を集め、それを分類整理して、集団の特徴や傾向を考えようとしている。また、表やグラフの特徴に気づくとともに、表やグラフを進んで用いようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を整理する観点を決め、それに応じた、より簡潔・明瞭な分類・整理の方法を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表やグラフを読んだりかいたりできる。また、棒グラフから集団のもつ全体的な傾向を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表やグラフの読み方やかき方を理解している。また、「正」の字を書きながら資料を整理するしかたを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> * 資料を落ちや重なりがないように分類整理する方法を理解させる。 * ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる。
--	---	--	---	--	---

<p>9 月</p>	<p>8 かけ算の筆算</p> <p>○被乗数が何十・何百の場合の乗法の答えを，10 がいくつ分，100 がいくつ分と考えて，九九を用いて求める。</p> <p>○21×3 の計算のしかたを考える。</p> <p>○乗法九九が使えるように，被乗数を位ごとに分けて計算する筆算形式に置き換えることができる。</p> <p>○(2位数)\times(1位数)で，繰り上がりのある計算を筆算です。</p> <p>○(2位数)\times(1位数)の筆算で繰り上がりのある計算ができる。(部分積同士の和でも繰り上がるもの)</p> <p>○(2位数)\times(1位数)で学習したことを用いて，(3位数)\times(1位数)の計算のしかたを説明する。</p> <p>○(3位数)\times(1位数)の筆算のしかたが分かる。</p> <p>○筆算のよさに気づき，進んで用いようとする。</p> <p>○(3位数)\times(1位数)で，繰り上がりのある計算が筆算でできる。</p> <p>○(3位数)\times(1位数)で，被乗数に0のある計算が筆算でできる。</p> <p>○積の見積もりをもとにして，(2位数)\times(1位数)の暗算をする。</p>	<p>○乗法の筆算のよさが分かり，進んで用いようとしている。</p>	<p>○(2,3位数)\times(1位数)の計算のしかたを，具体物や図，式を用いて表現して考えている。</p>	<p>○(2,3位数)\times(1位数)の計算を筆算でできる。</p>	<p>○(2,3位数)\times(1位数)の筆算のしかたや，乗法の計算が乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることを理解している。</p>	<p>* ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる</p>
----------------	---	------------------------------------	---	--	--	--

1 0 月	<p>9 大きい数</p> <p>○一万の位までの数の読み方，表し方を知り，それを正しく読む。</p> <p>○一万の位までの数の構成を知り，正しく読んだり書いたりする。</p> <p>○千万の位までの数の読み方や構成などを考え，それを正しく読んだり書いたりする。</p> <p>○千万の位までの数構成について理解を深める。</p> <p>○一万や千を単位とした数の表し方ができる。</p> <p>○10倍・100倍の数の表し方が分かる。</p> <p>○10でわった数の表し方が分かる。</p> <p>○一億について知る。</p> <p>○数直線上に数を表したり，数直線上の数を読むことができる。</p> <p>○大小比較をすることができる。</p> <p>○数を一万のまとまりと見て，大きな数の計算を簡略化して考える。</p> <p>○桁数の多い，加法の筆算を考える。</p> <p>○十進位取り記数法の考えや数の相対的な見方を活用して，大きい数の加減の計算を考える。</p>	<p>○大きい数をとらえる際，十進位取り記数法の既習事項を生かすとともに，大きい数を身の回りから探したり，日常生活に使ったりしようとしている。</p>	<p>○大きい数も十進位取り記数法で表せることに気づき，その仕組みを生かして計算のしかたを工夫している。</p>	<p>○千万の位までの数を読み書きや数を数直線上に表したり，大小比較などができる。また，10倍，100倍したり，10でわったりした数を求めることができる。</p>	<p>○千万の位までの数の構成を理解し，十進位取り記数法の理解を深めている。また，数についての豊かな感覚をもっている。</p>	<p>* 一万までの数の仕組みを基にして，千万までの数のよみ方やかき表し方を理解させる。</p> <p>* ドリルや補充プリントを使って，既習事項の理解を深めさせる。</p>
-------------	--	---	--	---	---	---

<p>10 長さ</p> <p>○長いものを測る測定器具として巻尺があることを知る。</p> <p>○巻尺を使って、長さを測ることができる。</p> <p>○巻尺を使って、長さを正確に測ることができる。</p> <p>○10mを見当をつけて歩いたり、10mを歩いてその歩数を調べたりしながら、10mの量感を豊かにする。</p> <p>○測る対象によって、測定器具を選んだり、測り方を工夫したりすることができる。</p> <p>○「道のり」と「きょり」の違いを理解する。</p> <p>○1 kmの意味が分かる。</p> <p>○mと km の関係を理解し、mで表された長さを、kmとmで表すことができる。</p> <p>○繰り上がりや繰り下がりのある計算のしかたが分かる。</p> <p>○長さの計算も単位をそろえれば、筆算で求めることができることが分かる。</p> <p>○1 kmが実際にどれくらいあるのかを、体験を通して感じ取る。</p> <p>○1 km は、「歩数で何歩あるのか」、「時間では何分かかかるのか」が分かる。</p> <p>○道のりと時間を組み合わせて、効率的なコースを考える。</p>	<p>○巻尺について関心をもち、その特性が分かり、測定の対象に応じて器具を選び、進んで測定しようとしている。</p>	<p>○長さの単位のkmとmの関係が分かり、目的に応じて単位を選んだり、適切な計器を選んだりすることを考えている。</p>	<p>○巻尺を使って、身の回りのものの長さを測ったり、kmやmを単位として長さを表したりすることができる。</p>	<p>○長さの単位1 kmを知り、他の長さの単位との関係を理解している。また、長さの大きさについての豊かな感覚をもっている。</p>	<p>* 長さの単位の1km=1000mの関係を理解させる。</p> <p>* ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる</p>
--	--	---	---	--	--

1 1 月	<p>1 1 円と球</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ある点から等距離に点をたくさん打つと、まんまる(円)な形に近づくことに気づく。 ○円の定義や用語を知り、円をかく道具を工夫する。 ○コンパスで円をかく。 ○直径の意味を知り、その性質を調べる。 ○コンパスのはたらきについて知る。 ○円の直径と中心について理解を深める。 ○円をかくには、どの構成要素が分かればよいかを調べる。 ○模様作りを通して、コンパスの使い方に慣れる。 ○コンパスのいろいろな使い方を知る。 ○球の特徴を円と関連づけて理解する。 ○学習した球の直径の性質を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りにある円や球の性質や特徴を調べようとしている。また、円や球のもつ機能に気づき、進んで生活に生かそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○折ったり、重ねたりする操作をもとにして、円や球の性質や特徴を、帰納的に考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○コンパスを用いて、決められた大きさの円をかいたり、線分を写し取ったり、模様をかいたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○円や球の定義や性質や、それぞれのもつ構成要素の関係を理解している。 	<p>* 辺の長さや角の大きさに着目して、二等辺三角形や正三角形の性質を理解させる。</p> <p>* ドリル練習をすることで、既習事項の理解を深めさせる。</p>
-------------	---	--	--	--	--	--

	<p>1 2 小数</p> <p>○1 dL より小さい端数部分も 10 等分した単位を用いて数として表せることを知る。</p> <p>○小数の意味とその表し方を理解する。</p> <p>○小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知る。</p> <p>○小数の相対的な大きさについて理解する。</p> <p>○かさや長さをいろいろな単位をもとに小数で表すことができる。</p> <p>○小数の仕組みや大小関係を理解する。</p> <p>○小数の加法は,0.1 を単位として考えると, 整数と同じように計算ができることを真小数で理解する。</p> <p>○帯小数の加法のしかたについて理解する。</p> <p>○小数の減法も, 小数の加法と同様に考えられることを理解する。</p> <p>○帯小数の減法のしかたについて理解する。</p>	<p>○小数の仕組みに関心を持ち, 進んで小数で表そうとしている。</p>	<p>○小数の表し方や計算のしかたを, 整数の表し方や計算のしかたをもとに, 考えている。</p>	<p>○端数部分を小数で表したり, 1/10 の位までの小数の加法, 減法の計算ができる。</p>	<p>○小数の意味とその表し方, 小数の計算のしかたを理解している。また, 小数の構成や大きさなどについての豊かな感覚をもっている。</p>	<p>*ドリル練習をすることで、既習事項の理解を深めさせる。</p>
--	--	---------------------------------------	---	---	--	---

<p>1 2 月</p>	<p>1 2 小数</p> <p>○1 dL より小さい端数部分も 10 等分した単位を用いて数として表せることを知る。</p> <p>○小数の意味とその表し方を理解する。</p> <p>○小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知る。</p> <p>○小数の相対的な大きさについて理解する。</p> <p>○かさや長さをいろいろな単位をもとに小数で表すことができる。</p> <p>小数の仕組みや大小関係を理解する。</p> <p>○小数の加法は,0.1 を単位として考えると, 整数と同じように計算ができることを真小数で理解する。</p> <p>○帯小数の加法のしかたについて理解する。●○</p> <p>○小数の減法も, 小数の加法と同様に考えられることを理解する。</p> <p>○帯小数の減法のしかたについて理解する。</p>	<p>○小数の仕組みに関心を持ち, 進んで小数で表そうとしている。</p>	<p>○小数の表し方や計算のしかたを, 整数の表し方や計算のしかたをもとに, 考えている。</p>	<p>○端数部分を小数で表したり, 1/10 の位までの小数の加法, 減法の計算ができる。</p>	<p>○小数の意味とその表し方, 小数の計算のしかたを理解している。また, 小数の構成や大きさなどについての豊かな感覚をもっている。</p>	<p>* 整数の十進法位取りの考え方を基にして, 1より小さい数を表す方法を理解させる。</p> <p>* ドリル練習をすることで, 既習事項の理解を深めさせる。</p>
----------------------	---	---------------------------------------	---	---	--	---

<p>13 三角形</p> <p>○いろいろな長さのストローを組み合わせて、いろいろな三角形を作ることができる。</p> <p>○辺の長さの違いに着目し、三角形を分類する方法を考える。</p> <p>○2つの分類方法で、それぞれ3つの集合を作り、結果が同じになることが分かる。</p> <p>○2辺の長さが等しい三角形の定義をする。</p> <p>○3辺の長さが等しい三角形の定義をする。</p> <p>○辺の長さが指定された二等辺三角形を、コンパスを使ってかく。</p> <p>○正三角形も二等辺三角形と同じ方法でかくことを知り、かく。</p> <p>○二等辺三角形や正三角形を折り紙で作ったり、作図をしたりする。</p> <p>○三角定規の角について、その意味、構成要素の頂点・辺・角の大きさを理解する。</p> <p>○三角形の3つの角を紙に写し取って角の大きさを比べ、二等辺三角形や正三角形の特徴を調べる。</p> <p>○同じ大きさの二等辺三角形や正三角形を敷き詰めて、いろいろな模様を作ることができる。</p>	<p>○三角形に関心をもつとともに、身の回りから三角形を探したり、進んで調べたり、比べたりしようとする。また、三角形で敷き詰める活動を楽しもうとしている。</p>	<p>○三角形について分類し、分類した観点や分類した図形ごとの特徴を見いだしている。また、三角形の構成要素に着目し、三角形の特徴を帰納的に見いだしている。</p>	<p>○三角形の辺の長さの違いに着目して、ストローなどで三角形を構成したり、コンパスや分度器で作図したりできる。</p>	<p>○二等辺三角形、正三角形の定義・特徴や図形としての角の意味を理解している。また、図形についての豊かな感覚をもっている。</p>	<p>* 辺の長さや角の大きさに着目して、二等辺三角形や正三角形の性質を理解させる。</p> <p>* ドリル練習をすることで、既習事項の理解を深めさせる。</p>
---	---	---	--	--	--

<p>14 2けたのかけ算</p> <p>○(1位数)×(何十)の意味が分かり、式が立てられる。</p> <p>○既習事項を生かし、(1位数)×(何十)の計算方法を考え、説明する。</p> <p>○(何十)×(何十)の計算方法を、(1位数)×(何十)の計算方法をもとに考え、積を求める。</p> <p>○(2位数)×(2位数)の筆算の手順を、計算の方法と結びつけながら考える。</p> <p>○(2位数)×(2位数)を乗数の位ごとに計算する筆算の手順を理解し、筆算で求める。</p> <p>○(2位数)×(何十)の筆算のしかたを理解する。</p> <p>○(3位数)×(2位数)を乗数を位ごとに分けて計算する。</p> <p>○(3位数)×(2位数)の筆算の手順を、計算の方法と結びつけながら考える。</p> <p>○空位のある(3位数)×(2位数)の筆算を、位に気をつけながら計算する。</p> <p>○(3位数)×(1位数)の暗算をする。</p>	<p>○(2, 3位数)×(1位数)の計算のしかたをもとに、(2, 3位数)×(2位数)の計算のしかたを進んで見つけ出そうとしている。</p>	<p>○(2, 3位数)×(2位数)の計算のしかたを、具体物や図、式を用いて表現して考えている。</p>	<p>○(2, 3位数)×(2位数)の計算が筆算でできる。</p>	<p>○乗数が2位数になっても、乗数を位ごとに分けて計算し、その部分積をたすと積が求められるという筆算の意味を理解している。</p>	<p>* 2けた×2けたの筆算の仕方を理解させる。</p> <p>* ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる。</p>
---	---	--	-----------------------------------	--	--

	<p>15 分数</p> <p>○1mに満たない長さの表し方を考え、単位分数を用いた分数の表し方を知る。</p> <p>○はしたの表し方を考え、単位分数の何個分かで量を表すことを理解する。</p> <p>○分数、分母、分子の用語を知る。</p> <p>○単位分数を1目盛りとした分数のものさし、分数ますを作り、実際の量を測ることができる。</p> <p>○単位分数をもとにして、分数の構成や大小比較について理解する。</p> <p>○分母が10の分数と小数の関係を理解する。</p> <p>○分数の加減を適用する場面が分かり、同分母分数の加減の計算のしかたを理解する。</p>	<p>○分数の仕組みや表し方に関心を持ち、進んで考えたり使ったりしようとしている。</p>	<p>○単位分数をもとに、分数の表し方や、簡単な場合の加減のしかたを考えたりまとめたりしている。</p>	<p>○はしたや等分してできる部分の大きさを、分数を用いて表すことができる。</p>	<p>○分数の意味と表し方、簡単な場合の加減の意味を理解している。また、分数の構成や大きさなどについての豊かな感覚をもっている。</p>	<p>* 整数で表せない、したの大きさを分数を使って表すことができる。</p> <p>* ドリル練習をすることで、既習事項の理解を深めさせる</p>
--	--	---	--	--	--	--

<p>16 重さ</p> <p>○形や材質、大きさの違うものの重さを調べる方法を考え、重さ比べをする。</p> <p>○重さは単位とする重さのいくつ分で表せることを知り、単位を決めて身の回りのものの重さを測定する。</p> <p>○重さの単位「g」とその書き方・読み方を理解する。</p> <p>○重さを測定する道具としてはかりがあることを知り、はかりで様々なものの重さを測定する。</p> <p>○大きい重さを測る単位として「kg」があることを知り、1 kg を使って重さを測定することができる</p> <p>○はかりの目盛りの仕組みを知り、適切な単位を用いているいろいろなものの重さを表す。</p> <p>○重さのおよその見当をつけて、目的に応じてはかりを選ぶ。</p> <p>○長さ、かさ、重さの単位に共通する関係に気づき、単位についての理解を深める。</p> <p>○体積が同じでも、材質によって重さが違うことを理解する。</p> <p>○粘土の変形を通して、重さの保存性を理解する。</p> <p>○重さの測定活動を通して、重さは加減ができることに気づき、重さの単位の仕組みを生かして簡単な加減の計算をする。</p>	<p>○「重さ」は、数値化できることに興味をもち、重さを調べたり測ったりしようとしている。また、目的に応じて、単位や計器を選んで測定しようとしている。</p>	<p>○ものの重さも、他の量と同様に単位とする重さを決め、そのいくつ分で測ればよいと考えている。また、目的に応じて、単位や計器を選ぶことを考えている。</p>	<p>○はかりを使っているいろいろなものの重さを測り、g やkgの単位を用いて重さを表したり、重さの計算をしたることができる。</p>	<p>○重さが測定できる量であることを知り、重さの単位を理解している。また、重さの大きさについての豊かな感覚をもっている。</p>	<p>* はかりの使い方や目盛りの読み方、1 kg = 1000g の関係を理解させる。</p> <p>* ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる。</p>
--	---	---	---	---	---

<p>17 □を使った式</p> <p>○具体的な場面をもとにして，加法や減法の問題場面を言葉の式で表現する。</p> <p>○□にあてはまる数の求め方を理解する。</p> <p>○図や言葉の式をもとに，分からない数を□として，乗法の式に表す。</p> <p>○乗数が□のときの求め方を理解する。</p>	<p>○図や言葉の式をもとに，分からない数を□として，文脈通りに数量の関係を式に表そうとしている。</p>	<p>○数量の関係を図や□を使って考えている。また，□に入る数を，□に数をあてはめて考えている。</p>	<p>○図や言葉の式をもとに，分からない数を□として，文脈通りに数量の関係を式に表すことができる。</p>	<p>○□は未知の数量を表す記号であることや，数量の関係を式や図に表せることを理解している。</p>	<p>* 数量の関係を表す式について理解し，式を用いることができるようにする。</p> <p>*ドリルや補充プリントを使って、既習事項の理解を深めさせる。</p>
<p>18 そろばん</p> <p>○そろばんの仕組みを知り，そろばんに数をおいたり，おいてある数を読んだりすることができる。</p> <p>○そろばんを使い，簡単な加減の計算ができる。</p> <p>○そろばんを使い，万の単位，小数第一位までの簡単な加減の計算ができる。</p>	<p>○そろばんの仕組みや使い方に関心を持ち，進んでそろばんを使おうとしている。</p>	<p>○そろばんの仕組みや十進位取り記数法の仕組みをもとに，10や5の補数を使って計算する方法を考えている。</p>	<p>○そろばんを使って，簡単な加法や減法の計算をすることができる。</p>	<p>○そろばんの各部の名称や数の表し方，計算のしかたを理解している。</p>	<p>* そろばんによる数の表し方について知り，そろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができるようにする。</p>

--	--	--	--	--	--	--